

100億宣言



株式会社 千種



【海外研修】

- 本社所在地：
愛知県名古屋市熱田区
- 事業概要：
婦人服製造卸
- 常時使用する従業員：
62名（2025年3月時点）
- 現在の売上高：
77億円（2025年3月期）
- 法人番号：
2180001000756
- Web：
<http://www.sen-shu.co.jp/>

株式会社千種（婦人服製造卸）

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
中嶋 輝好

時代に応え価値を創る服作り

当社は、1974年にレディスアパレルメーカーとして創業以来、お客様の趣味嗜好の多様化に応えるべく、商品構成の幅を広げ、企画から販売までトータルに展開してまいりました。

生産部門では、アジア各国を中心とした現地生産・開発輸入を積極的に行い、スピーディーな商品供給を可能にする即納体制を整備し、時代の変化や市場のニーズに柔軟に対応できる基盤を築いてきました。

「低価格」だけに依存した提案ではなく、機能性や最新の流行を取り入れたスタイル提案と、お客様に満足いただける商品提供を使命としています。新たな価値を創造し続ける企業でありたいと考えています。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2031年の売上高100億円達成に向けて、每期4%程度の成長を目指す。
目標実現のために、2026年に倉庫の新設を計画しており、それに伴って、最新設備の導入と作業工程の刷新、物流システムの再構築を行う。
100億円達成後も、さらなる成長を目指して、新しい挑戦を続ける。

課題

- ・価格競争リスクへの対応：一層のブランド力や差別化が重要
- ・多様化する顧客ニーズへの対応：企画・開発コストの増大や在庫リスク
- ・海外生産体制のリスク：為替変動、国際物流の混乱、地政学リスクなど
- ・即納体制の維持：DXによる在庫管理・物流網の効率化がさらに重要
- ・管理体制の強化：売上拡大に伴い、システム投資や人員強化が課題
- ・人材育成と組織力：今後の展開には、社員一人ひとりのスキルアップと組織的なマネジメント力強化が不可欠

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 1) 付加価値提案：機能性やトレンドを活かした商品企画力を強化し、ブランド独自の価値を打ち出す
- 2) デジタル化：ECやSNSを活用した販路拡大により、多様な顧客層を開拓
- 3) 物流基盤強化：自社倉庫を構築し、物流体制を自社で一元管理することで、即納体制を進化させると同時に在庫管理・コスト削減を実現し、拡大する販売チャネルに柔軟に対応できる基盤を確立
- 4) 人材戦略：企画力・デジタル対応力を持つ人材の確保と成長を支援することで、持続的に新しい価値を創造できる企業体制を整える

実施体制

- ・ブランド企画部署：デザイナーとマーケティング担当が連携し、ECやSNSでの消費者データを反映できる体制を確立する
- ・DX推進担当部署：データ分析、デジタルマーケティングを実施できる体制を組み、オンラインとオフラインによるOMO戦略を推進する
- ・倉庫管理担当部署：専門スタッフ、在庫管理システムを導入し、購買、生産、物流を一体管理する
- ・教育研修部署：教育研修プログラムの拡充、特にデジタル、物流、企画人材を重点的に育成する体制を整える

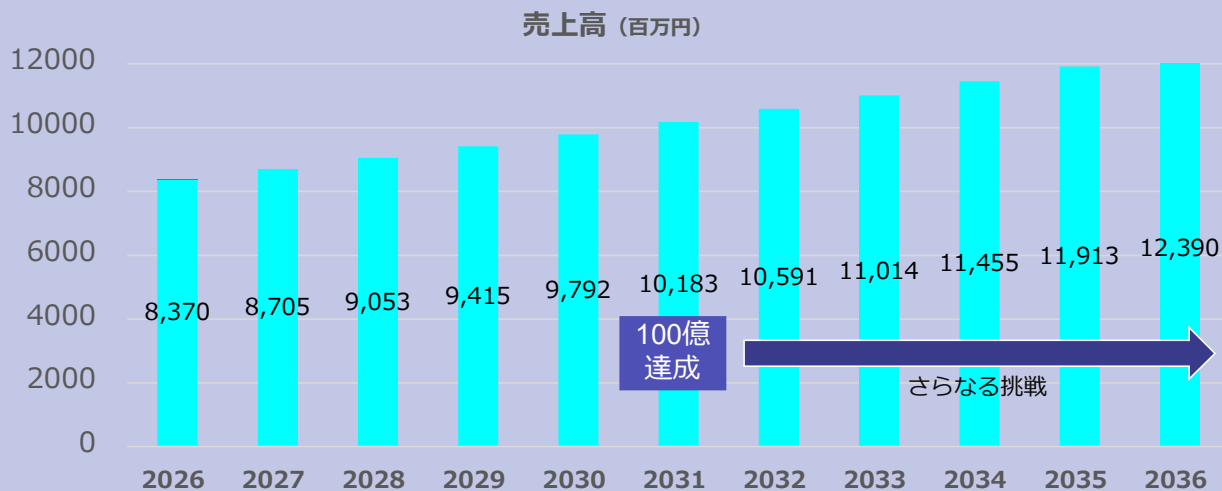
※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円目標実現の根底にある思い

当社は、創業以来「時代に応じた価値ある商品を届ける」ことを軸に歩みを進めてきました。単なるアパレルメーカーとしての存在にとどまらず、社会やお客様に新しい可能性を提供し続けたいという強い使命感があります。100億円という目標は単なる数値的ゴールではなく、企業としての成長を通じて「働く人々が誇りを持ち、取引先や顧客から信頼され、地域や業界に必要とされる存在」へと飛躍するための通過点です。

そのために掲げる理念は、第一に「創造力による価値の拡大」です。流行を取り入れるだけではなく、生活者の声を先取りし、デザインや機能を融合させることで新しい付加価値を生み出す姿勢を貫きます。第二に「強固な基盤の構築」です。建設予定の自社倉庫は、安定した供給力と効率的な物流を担保し、信頼を形にする象徴的な投資です。第三に「人と組織の進化」です。社員一人ひとりが挑戦と学びを重ね、個の力と組織の力を両輪で高めることで、持続的な成長を可能にします。

当社が描く未来像は、単に売上規模を拡大することではなく、変化の激しい時代にあってもお客様に安心と期待を届ける「価値創造企業」としての存在感を確立することです。100億円の達成はその証であり、同時にさらなる挑戦の出発点であると考えています。



倉庫新設による物流拠点の構築

